





九月十五日の「敬老の日」を中心に、老人福祉週間に展開され、全国的にいろいろな行事が行われたことは、すでにご承知のことです。東栄町でも、おとよりを敬い、そのしあわせを高めるために、町長の高齢者慰問や各区ごとに恒例の敬老会が催されました。それに、老人福祉対策の一環である「医療費助成制度」が、いよいよ十月一日から新たにスタートします。

町では、この老人福祉週間に迎えるあたり、町長が九十歳以上の高齢者を各戸に慰問。多年にわたって社会に貢献されたご労苦に感謝するとともに、これからも元気に余生を送られるよう、ささやかながら記念品を贈りその長寿をお祝いしました。

また、「敬老の日」には、満七十五歳以上のおとより三百九十四名を各区ごとに招待し、

区、婦人会、青年団、各学校、保育園などの協力を得て、敬老会が実施されました。

なお、この日には、満八十五歳（九月十五日現在）以上の長寿者六十二名に県から敬老金八千円、それに、ことしから新たに満七十五歳から七十九歳までの長寿者六十三名に、昨年度は三千円）が、また、満八十歳から八十四歳までの長寿者三十六名に一千円の敬老金が交付されました。町から字東本町の加藤そのさん（加藤功の祖母）と、大字西蘭目字畠市伊藤彦太郎さん（伊藤明氏の父）のおふたり、加藤さんは明治七年三月生まれ、伊藤さんが同年五月生まれともに満九十七歳。ご両人とも、いたつてお元気な毎日を過ごされています。

地域の最年長者として、こぞりその長寿を祝福し、敬意を表したいものです。

ところで、興が過ぎたとおしゃりの向もあるかと思いつますが、お元気な毎日を過ごされています。

地元の長寿者番付を編成してお元気な毎日を過ごされています。

最年長者の男女各一名（あわせて四名）のかたに、長寿を祝つて記念品が贈られました。

同社は、四十三年末に刈谷市から中設楽地内に進出して東栄町で営業、地域の人たちとともに歩もう、という会社の考え方を反映して、以後順調な経営を続けています。

このたびの同社の善意も、こうした点の表われとして受け止められ、町は心から感謝してください」と、役場の住民課を通じて町へ寄付されました。

同氏の母あきさん（満八十歳）は、九月の「老人福祉週間」を目前にして、去る八月十五日にこの世を去られました。

「母が生前にみさんから受けた恩義に対して、せめてお年寄りのしあわせにお役に立てば」と、町にその善意を寄せられたものです。

東栄町の佐々木静夫氏は、「な

くなった母への香典の一部ですが、老人福祉のために役立てるべき」と、役場の住民課を通じて町へ寄付されました。

同氏の母あきさん（満八十歳）は、九月の「老人福祉週間」を目前にして、去る八月十五日にこの世を去られました。

「母が生前にみさんから受けた恩義に対して、せめてお年寄りのしあわせにお役に立てば」と、町にその善意を寄せられたものです。

タイガーサッショ製作所（多和製則社長）から、町内の最高齢者と中設楽地区の

亡母への香典を寄付

東栄町の長寿者番付表

## お年寄りにしあわせを

◇◇各区で盛大に敬老会◇◇

75歳～79歳にも敬老会



伊藤彦太郎さん



加藤そのさん

九十四名を各区ごとに招待し、

満七十五歳以上のおとより三百九十四名を各区ごとに招待し、

最

高

者

加藤・伊藤のご両人

講

者

伊藤彦太郎さん

